

【岩本】会議録（岩本町高齢者在宅サービスセンター 2021年度第2回認知症対応型通所介護 運営推進会議）

作成者 小川健太郎

参加者	小川健太郎, 五十嵐容子, 木田幸江, 柳瀬歩, 三浦明日香, 松本幸二郎, 高橋誠
欠席者	三浦明日香 松本幸二郎 柳瀬歩 高橋誠
開催日	03/07 (月)
開始時刻	13:30 ~
終了時刻	14:30
開催場所	Zoom開催
議長	小川健太郎
書記	木田幸江
外部参加者	〇〇様 〇〇様 〇〇様 〇〇様 〇〇様 〇〇様 (以上ご家族様、書面参加) 〇〇様 〇〇様 〇〇様 〇〇様 〇〇様 〇〇様 (書面参加) 〇〇様 (書面参加) 〇〇様 (欠席)
議題	① 開催の挨拶・自己紹介 ② 下半期の事業概況の報告 ③ 認知症対応型デイサービスのニーズについて
決定事項	
保留事項	
会議内容	<p>① 開催の挨拶・自己紹介</p> <p>② 下半期の事業概況の報告 ⇒資料参照</p> <p>「活動内容について」 木田：グループホームとの合同活動はZOOMで行っています。以前は直接フロアの行き来などをしていましたが、新型コロナウイルス感染症に留意して始めました。ゲームレクリエーションや歌の活動など楽しまれています。</p> <p>工作の画像が多めですが、季節を感じて頂くための方法の一つとして行っています。ちぎり絵などの作成は、なるべく多く手先を使って動かしていただくことを狙って行っています。塗り絵をされる場合は色使いを見るなどして、その方の当日の精神状態の把握につなげていることもあります。</p> <p>お菓子作りは新型コロナウイルス感染症に留意してそれぞれ自身の物を作っていただくというやり方で行っています。</p> <p>お茶点では男性の方は初めての取り組みと言う方もいらっしゃいましたが、参加されていました。女性の方は以前趣味で行っていたためお茶点でのやり方について話を下さる方もいました。</p> <p>食事の盛り付け、下膳は自身でできることを継続して頂くという目的で行っています。新型コロナウイルス感染症に留意し、ご自身の物を行っていただくというやり方で行っています。</p>

(新年会の写真から) 季節の行事は、デイサービスのなかで皆様の楽しみの一つとなっていますので、楽しんでいただける様工夫をしています。画像はおみくじを引いていただいているところ です。

外出活動などについては、画像では載せていないですが、ご利用者様と買い物に行き、お菓子作りなどの食材を買ったりということ を新型コロナウイルス感染症に留意し、部分的に行ったりしていました。

③ 認知症対応型デイサービスのニーズについて
⇒資料参照

小川：ニーズアンケートについて事前に提出して頂いた方について、内容を簡単にまとめましたので報告いたします。ご家族様はZOOMでの参加が難しく、アンケートの返信をもって参加という形になりました。ケアマネジャーの方もZOOM参加が難しかった方はアンケートの返信のみいただいています。

アンケートの自由記述について、報告いたします。
ご家族様からは有料での散髪サービスについての希望が2件ございました。また「通所の方でもなるべく日常出来ることはさせていただきたい」、「水分・食事の摂取に波がある」、「朝起きる時に痛みを訴え嫌がる事がある」「家族で気づきにくい点も見えていただけて助けていただきました」、「入浴等家庭で出来ない面をフォローしていただけて助かっています」などのご意見をいただきました。

ケアマネジャー様からは、「外出行事があると良い」、「家族会があるとよい」、「持ち帰りのお弁当はとても助かっている」、「日曜日でもデイサービスがあると助かる方も多いと思います」、「リハビリ、歩行練習、噛む・飲み込むの練習も行ってほしい」「水分補給を1日1500CC以上摂取してほしい」、「見守りや介助をしてでもよいので、楽しみを見つけて増やしてほしい」、「その方の若い頃の様子、生活歴を聞いて探していただけたらと思います」などのご意見をいただきました。

「質問・その他の意見」

ケアマネジャー ○○様

認知症高齢者の日常生活自立度の説明があったが障害高齢者の日常生活自立度については動ける方が多いのでしょうか。

⇒

小川：障害高齢者の日常生活自立度の集計は今回は行っていませんが、現在のご利用者様は、ADLとしては比較的保てており、寝たきりに近い方よりは動けている方の方が多いと思います。

認知症地域支援推進員 ○○様

認知症の状態評価は難しく、認知症の自立度の評価は医師によってばらつきがあると感じている。中核症状なのか周辺症状なのか評価し辛いと思います。そういった医師の認知症評価などは情報として事前に来ているのか、また情報を活用し

た日常ケアを行っているのでしょうか？

新型コロナウイルスの影響で外出自粛をしていたため機能低下がみられた方が多いなか、訪問してご家族から聞いたところ、認知症対応型デイサービスに対して、通所しても何もしないでほっとかれるのではないかと、望まぬ体操などをさせられているイメージが強いというような話が多かったです。認知症の状態のスクリーニングでは家庭でご家族が負担を感じていることが表れているように思います。

⇒

小川：岩本町デイサービスでは、通所されてからフロアでのアセスメント、例えば見当識障害の状態、日にちや名前が書けているか、他には着替えや排せつの動作がご自身でどこまでできているかなどを把握してケアに当たっていますが、自宅の中の状況について把握しきれていないという認識があります。自宅の中の状況とセンターでのケアを結び付けられるよう取り組んでいきたいと思っています。

以前、認知症の状態把握のアセスメントシートの研修を受けたことがありましたが、そのシートは軽度の認知症の方のスクリーニング用のものであったので、デイサービスにはうまく活用できないと感じたところがありました。

ケアマネジャー ○○様

ケアマネジャーでも、それぞれアセスメントの評価はばらつきがある。提案として、初回と3か月と同じ職員が評価を試みてはどうでしょうか。デイサービスに来て初回にできなかったことが、こんなふうにできましたというように評価をしていけばよいと思います。職員の共通認識であればそれを評価としていいのではないのでしょうか。

⇒

小川：ご利用者様の状態評価について皆で話をし、デイサービスの中でうまく活用できるような書式も考えていきたいと思っています。

認知症の人と家族の会 ○○様

担当しているご利用者が岩本町のデイサービスを利用しており、その方からお話を聞いたとき「明日は書道教室があるの」と嬉しそうに話されていました。私は居心地のよい、いい雰囲気の中で過ごされているのではないかと感じています。

グループホームとオンラインでの交流をされていることは、すごいことだと思う。オンラインでのご利用者様の反応はどうでしょうか。ぜひ、オンラインを活用した家族懇談会を開催し、ご家族のお話を聞く機会を設けてはどうでしょうか。

⇒

木田：ご利用者様によっては画面に顔が映ると手を振ったりして相手をしっかり認識しており、思ったよりも画面での交流が出来ていると感じています。グループホームのご利用者様はご家族とZOOMの面会を行っているので慣れていることもあると思われます。

以前ご近所で住まれていた方同士の交流がZOOMによって再開出来たことも良かったことの一つと思っています。

⇒

小川：今回の会議でもご家族様のZOOMでの参加は難しかったです。まずは、お一人ずつオンライン見学会などの形でご家族様とやり取りを進めていくことで、徐々に集まって行う形に発展させることができればよいのではと思いました。

	以上
資料	
次回開催予定	
資料1~5	2021年度第2回認知症対応型通所介護推進会議 下半期報告.pptx (application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.presentation) 652 KB ニーズアンケート（事前提出まとめ）.docx (application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.document) 15 KB アンケート書式.xlsx (application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet) 92 KB
資料6~10	